

(11) ①後発医薬品への変更が可能な処方せんに基づき、先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤する場合、後発医薬品についての説明と、一般的な服薬指導の両方を行うのに、患者1人当たりどの程度の時間(後発医薬品説明＋一般的な服薬指導の合計時間)がかかりますか。説明を行った患者がいなかった場合は「－」をご記入ください。 ※おおよその時間で結構です。具体的に数字をご記入下さい			
	【初回の患者の場合】	約()分	
	【2回目以降の患者の場合】	約()分	
②一般的な服薬指導を行う場合、患者1人当たりどの程度の時間がかかりますか。		約()分	
(12) 平成21年4月以前に後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、医療機関が、薬局で変更した当該後発医薬品の銘柄処方方に切り替えた患者数の割合		約()%	
(13) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、当該後発医薬品を直ちに切り替えることができずに後発医薬品に変更できなかった患者は、どの程度いましたか。 ※○は1つだけ			
1. 10%未満	2. 10%以上～30%未満	3. 30%以上～50%未満	
4. 50%以上～70%未満	5. 70%以上～90%未満	6. 90%以上	
(14) 医薬品の備蓄状況等		(ア) 全品目	(イ) うち、後発医薬品
	①平成20年7月	約()品目	約()品目
	②平成21年7月	約()品目	約()品目
	③上記②のうち、複数銘柄の後発医薬品を備えている先発医薬品の備蓄品目数	約()品目 例) (先発医薬品α10mg 後発医薬品A10mg 後発医薬品B10mg 先発医薬品α20mg 後発医薬品A20mg 後発医薬品B20mg) →複数銘柄の後発医薬品を備えている先発医薬品が2品目なので、「2品目」と数えます。	
	④先発医薬品と同じ剤形の後発医薬品が薬価収載されていない、先発医薬品の備蓄品目数	1) 先発医薬品が OD錠 → ()品目	2) 上記1) 以外 → ()品目
⑤上記質問(13)のようなケースがないようにするためには、合計でどの程度の後発医薬品の品目数の備蓄が必要だと思いますか。		約()品目	
(15) 貴薬局で採用している後発医薬品を選択した理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○			
1. 後発医薬品メーカーによる品質に関する情報開示の程度 2. 他の後発医薬品よりも薬価が安価 3. 近隣の保険医療機関・保険薬局への納入実績の程度 4. 迅速かつ安定的に製造販売業者や卸業者から入手できる 5. 患者の使用感がよい (例；味がよい、臭いが気にならない、貼付感がよい) 6. 調剤がしやすい (例；容易に半割ができる、一包化調剤がしやすい) 7. その他 (具体的に)			